

真理と誤りを見分ける

全ての福音の神権時代では、悪の力が神と神の御業に対立してきましたが、神の業がくじかれることはありません。この末日では、石が山から切り出され、「全地に満ちるまで転がり進」みます（教義と聖約 65：2）。しかし、教会の個々の会員が惑わされることもあるため、わたしたちは「常に目を覚ましていて祈らなければ〔なりません〕。」（3 ニーフアイ 18：18）



「福音のすべてが回復されているこの時代に、完全な真理を探すために地図にない海や標識のない道路を旅する必要は、皆さんにもわたしにもないのです。愛に満ちた天の御父が道を計画してくださいました。そして、常に変わることのない道案内を備えてくださいました。それは従順です。神の戒めに従順になることによって、真理を知り、人が抱く最大の疑問への答えを得ることができます。」（トーマス・S・モンソン「従順は祝福をもたらす」『リアホナ』2013年5月号、89）



「ですから……愛する友人の皆さん、自分の信仰について疑いを持つ前に、その疑いを疑ってみよう心からお願いします。疑念のとりこになって、神の愛や平安、主イエスキリストの信仰のもたらす賜物を遠ざけてしまうことのないようにしなければなりません。」（ディーター・D・ウクトドルフ「ともに集いましょう」『リアホナ』2013年11月号、23）



「サタンは大いなる詐欺師であり、『兄弟らを訴える者』（ヨハネ 12：10）であり、『偽りの父』（ヨハネ 8：44 を参照）であって、わたしたちを打ち破るために、欺こうと絶えず努めています（教義と聖約 50：3参照）。……」

すでに真理を受け入れている人に対して、悪魔の最初の計略は疑いの種をふくらませることです。例えば、悪魔は、教会に関してそれまでに学んだことと相いれない情報に出会った数多くの教会員をつまずかせてきました。

そのような瞬間を経験することがあったら、この情報化時代であって、どんなことについても、またあらゆることについて、あらゆる時に、あらゆる場所で、疑いを作り出す人は大勢いるのだということを忘れないでください。……

印刷されて出回っているとか、インターネットに書かれているとか、度々繰り返されているとか、支える人たちが強力なグループを構成しているといった理由だけでは、真理を構成することにならないのだということを、いつも心にとどめることは良いことです。

時には、真実ではない要求や情報が、いかにも信頼できそうな様子で提示されることがあります。……

一見、今矛盾しているように見えることも、もっと信頼できる情報を求めたり、受けたりしたときには、完全に理解できるようになるかもしれません。」（ディーター・F・ウクトドルフ「真理とは何か」（教会教育システムディボーションナル、2013年1月13日）、lds.org/broadcasts。



「神の計画に関するわたしたちの知識、および神の言葉や生ける預言者の教えによって与えられた根拠を現代の習慣や提案と比較することから始めるとき、……永遠に安全な場所に身を置くことができると知っています。」（ダリン・H・オックス、「As He Thinketh in His Heart」〔ダリン・H・オックス長老との夕べ、2013年2月8日〕、lds.org/broadcasts）



「恐れや疑いがあるとき、困難なときには、たとえ小さくてもすでに得ている土台にしがみついてください。……問題が発生したときに、なかなか解決しないときに、すでに知っていることに固くしがみついて、新たな知識を得るまで、強くあってください。」（ジェフリー・R・ホルランド「主よ、信じます」『リアホナ』2013年5月号、93–95）



「心から真理を求めている人には、インターネット上の情報には誤りもあることを知らせる方がいいでしょう。どんなに説得力のある情報でも誤りは誤りです。」（ニール・L・アンダーセン「ジョセフ・スミス」『リアホナ』2014年11月号、28）



「霊的な疑問に対する答えは、心をかたくなにすることなく、信仰をもって願い求め、受けると信じ、戒めを忠実に守る人に与えられます。」（ポール・V・ジョンソン、「A Pattern for Learning Spiritual Things」〔CES宗教教育者への説教、2012年8月7日〕、si.lds.org）



「離反者の目を通して……教会を研究することは、イエス・キリストを理解するためにユダをインタビューするようなものです」（ニール・A・マックスウェル、「All Hell Is Moved」〔ブリガム・ヤング大学ディボーションナル、1977年11月8日〕、3、speeches.byu.edu）。

